

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【公表番号】特表 2002-515660 (P2002-515660A)  
 【公表日】平成 14 年 5 月 28 日 (2002.5.28)  
 【出願番号】特願 2000-548933 (P2000-548933)  
 【国際特許分類】

**H 0 1 P 5/02 (2006.01)**

**H 0 4 B 1/18 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 P 5/02 6 0 5 E

H 0 1 P 5/02 6 0 5 D

H 0 4 B 1/18 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 17 日 (2006.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アンテナと出力電力ユニットなどの給電ユニットとの間に構成され、前記アンテナの給電インピーダンスと前記給電ユニットの出力インピーダンスとの間のインピーダンス分担の比が 3 を越え、直列に接続された少なくとも 2 つの四分の一波長変成器、又はテーパとされた四分の一波長導体を備えるインピーダンス整合装置であって、

前記直列に接続された少なくとも 2 つの四分の一波長変成器、又は前記テーパとされた四分の一波長導体は、値が 10 を越える誘電率の誘電体材料で形成されるインピーダンス整合装置。

【請求項 2】

前記誘電体材料の外壁と内壁は金属化され、前記インピーダンス整合装置の外部導体及び内部導体をそれぞれ構成する請求項 1 に記載のインピーダンス装置。

【請求項 3】

前記外壁と内壁の間の距離を変化させた少なくとも 2 つの同軸の四分の一波長変成器を有する請求項 2 に記載のインピーダンス整合装置。

【請求項 4】

前記内部導体が空洞になっている請求項 2 又は 3 に記載のインピーダンス整合装置。

【請求項 5】

前記四分の一波長変成器のそれぞれ新たな段ごとに前記内部導体の半径を変化させる請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のインピーダンス整合装置。

【請求項 6】

前記内部導体が空洞になっており、上記変成器の各段の間が一定した連続の遷移になっており、かつ一段の半径が連続して変化している請求項 2 に記載のインピーダンス整合装置。

【請求項 7】

前記インピーダンス整合装置は、アンテナと一体化され前記アンテナユニットを形成する請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のインピーダンス整合装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項 に記載のインピーダンス整合装置を備える無線通信用装置。